

イエスはまなり

日本クリスチャン・アシュラム連盟



# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈祷運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 163号

## 「永遠の然り」の真理者イエス・キリスト

Ⅱ  
Ⅰ  
Ⅰ コリント 9 : 15 ~ 24

木部 安来



中国の国家から集会、伝道を禁止されている「家の教会」の信徒は、中国人口13億の内8千万人が迫害のなかで信仰に励んでいる。「公安」に逮捕されると重労働だという。韓国も人口6千万のうち、2千万近くのクリスチャンといわれる。日本では明治以降120年経過して受洗者が毎年与えられているが、クリスチャンの活会員は50万人という。

過日中国から来日した「家の教会」の女性の80歳を超えた伝道者に、日本が何故信者が増えないのか、と質問したら、「愛が無いからでしょう」と答えたという。恥ずかしいことだ。全国朝拝会の今年々頭集会が1月22日に開催された時に、植松誠日本聖公会首座主教は説教のなかで、1999年ロンドンで行われた記念式典に出席した際、司教の式服を着ていたいにもかかわらず、一人の老人から「お前はクリスチャンか」と尋ねられたことを想起し、この質問は「あなたはキリストの福音宣教のために命をかけているか」ということだったと振り返ったという。

パウロはコリントの教会に人間的な考えで訪問するのが良いと思ったが、「まだコリントに行けずにいるのはあなたへの配慮からです。私たちはそちらに行く事で再びあなたがたを悲しませるような事はすまい、と決心しました」といっています。18節では「神は真実な方です。だから、あなたがたに向けた私たちの言葉は[然り]であると同時に[否]であるというものではありません。」といい、そして20節で「神の約束はことごとくこの方(キリスト)に於いて[然り]となったからです。」と、さらに22節で「神はわたしたちに証印を押して、保証として私達の心に霊を与えてくださいました。」と言っています。神の約束はイエスにおいて「然り」となった、人間はいろいろと計画をたてるが、イエス・キリストを信じ、凡てを主にお委ねして命を懸け、祈り深く歩む者にとっては、結局、主の然り-主のみ旨のみが実現するのである。その約束を果たしてくださるイエスにおいて命懸けで福音宣教のために奉仕し、主の栄光を拝する者とさせて戴きたと祈るものです。ハレルヤ。

(日本ホーリネス教団・牧師)

## 霊 想



### 「喜びの源」

(イザヤ五十五章)

池の上キリスト教会牧師

千代崎 備道

聖書の中には私たちに「喜びなさい」と命じる言葉が、有名なピリピ書やテサロニケ書以外にも、数多くある。なぜ、そのように命じておられるのかと言えば、私たちは喜びることがなかなか出来ない者だからである。一時的には喜ぶことがあっても、他に問題が起これば、すぐにその喜びは消えてしまう。神様は私たちに「喜べ」と命じ、喜びに満ちた人生へと招いておられる。この喜びは人間の努力によるのではない。本当の喜びの源泉は神の御言葉である。その一つ、イザヤ書55章も、私たちに喜ぶことを語っている。

#### 1. 御言葉の養い(1-5節)

神は「良いものを無代価で与えるから、来て食べよ」(五十五章1節)と私たちに招いておられる。肉体の食事でも、美味しいものを食べれば

元気が出るし、喜びがある。それ以上の良いものを、神は無代価で与えてくださる。それは御言葉による養いである。エジプトから救い出されたイスラエルの民に天からのパンであるマナが与えられたのは、御言葉の糧により生きることを教えるためであった(申命記八章6節)。

「耳を傾けよ、聞け」(3節)という言葉は、度々、詩篇の中で神への祈りの言葉として用いられる。私たちが「聞いてください」と祈るだけの一方通行ではなく、神も「聞きなさい」と語りかける。ここに神との語り合いがある。神との親しい交わりは、祈り求めたことが適えられること以上の恵みである。この交わりこそがキリスト者の命であり、「生きる」ことである。神との交わりが欠けていると豊かな信仰生活は出来ない。

この神との交わりによる人生を、3節は「ダビデとの契約」に例えている。神がダビデに約束された契約(第二サムエル七章8-16節)は無条件の恵みであり、彼が後に大きな罪を犯しても、それでも変わることに無い恵みだった。私のような罪人でも、神との生きた交わりによって生かされるのだという恵みを知ることから、本当の喜びが始まる。

#### 2. 御言葉の赦し(6-8節)

ところが、せっかく御言葉を受け

る機会を与えていただいても、人間は自分の声に聞き従い、御言葉には聴こうとしない。聖書を読んでいて、自分に都合の良い聖句を選びがちである。また自分の考えに固執してしまう。

イザヤ書はイスラエルの民、特にユダ王国の人々に、神の審きが来ることを予告した。しかし、バビロンに捕囚として連れて行かれても、神は救いの手を差し伸べてくださり、神に立ち帰りさえするならば、豊かに赦してください(7節)。それがイザヤ書後半のメッセージである。御言葉に聴いて従うとき、神は驚くほどに赦してください。

何時、御言葉に耳を傾けたら良いのだろうか。それは「今」であり、「お会いできるとき」である(6節)。神に背を向けて離れていた者に、神の方から近づいてくださり、悔い改めて立ち返るなら、豊かに赦してください。御声に耳を傾け、主を呼び求めて祈るなら、いつでも応えてくださる。それほどまでに主がいつも近くにいてくださる。だから、どんな苦しいときにも喜びが生まれるのである。

#### 3. 御言葉の力(9-13節)

天地創造をされた神の言葉には力があり、かならず実現する(11節)。人間の考えや計画を遥かに超えて、神は働いてくださる。祈るとき、私

たちが願うこと以上の御心をなしてくださるのである。神はイバラをモミの木に変えることが出来る(13節)。イバラのように棘だらけで、周囲の人を傷つけるような生き方の者を造りかえ、永遠の命を象徴するクリスマスツリーの木のように青々とした豊かな人生をおくらせてくださる。

私たちが御言葉を聴き、「アメン」と心の中に受け入れるとき、その御言葉自身が生きて働き、心を造りかえ、人生を新しくし、喜びに満ちたものにする。御言葉に聴くとき、神の力を味わい知る。この喜びは世の中の他の喜びとは比べることが出来ない祝福である。

毎週の礼拝でもそうであり、またアシュラムの集いでもそうであるが、御言葉をしっかりと握って帰っていきなさい。その御言葉を通して主が私たちの生活の中で働いてくださる。御言葉を心に浮かべるときに、受けた恵みを思い出すことができる。神の愛と恵みが心に溢れてくる。慰めや力をいただいで立ち上ることが出来る。そのような御言葉を語りかけておられる主に聞き従おう。そのとき、神は安らかに私たちを導いてくださる。だから喜びを携えて出ていくことが出来るのである(12節)。



# 証 立 アシユラムに参加して 東京新生教会 大関 千夏子

アシユラムって何？私は25才のイ  
ースターに洗礼を授けられました。  
伴侶を祈り16年後の昨春秋、主は  
新生したクリスチャンの主人を与え  
てくださいました。

東京新生教会へ夫婦で集い数ヶ月  
後、アシユラムの開催を知りました。  
「アシユラムって？」夫婦でよくわ  
からぬまま、「二日続けて参加する  
と月曜から疲れてしまうね」。

(教会まで片道1時間40分、3本乗  
り換え、内50分徒歩のため) 現実を  
見て何の悪気もなく「日曜のみ参  
加」と返事しました。その後横山義  
孝先生が小冊子「アシユラムの原則  
と実際」を下さり、ふと手にして読  
むと、語られたのです。「アシユラ  
ムとは主イエスに無条件降伏し失  
われた神様との聖交を教会に復活し  
たいとの祈りの運動」「誰でもわた  
しについて来たいなら、自分を捨て、  
自分の十字架を負って従え。この招  
きに対し私事や世俗の用事を理由に  
して十分に応答しない信者が多い。」

まさに私自身のことを言っている  
と感じました。主は私たちの家が遠  
く、やるべきことが多々あることを  
ご存知です。それでも「わたしに従

え」と仰せられる。わたしは全日参  
加をきめました。(主人は体調悪く、  
主日のみ) 初アシユラム、初日  
は小グループに分かれ今回のアシユ  
ラムで何を主に期待するかを分かち  
合いました。私は「人の言動にアツ  
プーダウンしてしまう自分、主の御  
言葉に信頼する、動かされない信  
徒になりたい」と述べました。そし  
てお互いのために祈り、帰宅後連鎖  
祈禱にはいりました。翌日の礼拝で  
横山基生先生は「神様をよく知るに  
は、一緒に働くこと」と語られ、ま  
たアシユラムのゲスト立証者・森脇  
弘隆兄(上田カルバリーチャペル会  
員)はご自身の体験から「試練が起  
きた時こそ、神は私たちに徹底した  
悔い改めを求めておられる」と語ら  
れました。

「聖霊の満たし」 充滿の時。明  
らかに聖霊の満たしは感じられず、  
引き続き主と向き合いました。する  
と二つの事が見えてきました。(1)  
これまで自己の明け渡しを祈りなが  
ら、決断の時になると自分の思い、  
他者の気持ち、環境等をみていたこと。  
主イエスを自分の主人としていま  
せんでした。(2) 以前入院した際(そ  
こで現在の主人と出会った) 小松中央  
教会の礼拝で語られたこと―創世記1  
章で「アダムとイブが禁断の実を食べ  
てしまった。神はアダムに、食べた  
のか」とお聞きになった。するとア

ダムはイブのせいにし、イブは蛇の  
せいでした。「はい、食べました。御  
免なさい」と言ったなら罪は赦され  
ただろう」と。私はこれまで随分つ  
らい目に遭い、打ち砕かれ、悔い改  
めて来たかと自負していました。その  
説教で目が開かれたはずが、何と多  
くの言い訳をしてきたことでしょう。  
誘惑や弱さがあっても、自分の犯し  
た罪は罪。これまでの自分が恥ずか  
しく、涙と共に悔い改めました。こ  
れからは人を見ず言い訳せず、自  
分の犯した罪だけを告白する者にし  
て頂きたいと思えます。

## 第42回城北アシユラム報告

荒井 光夫

二〇一一年二月十一日(金)、池  
の上キリスト教会を会場として城北  
アシユラムが開催されました。心配  
された雪も積もることもなく感謝で  
した。

今回は、新宿西教会のお子様をお  
持ちのお母さんから「子供達を預か  
って頂ければ参加したい」との要望  
が寄せられ、急きよ子供集会を行う  
ことになりました。参加者は子供  
十二名を含め七十八名でした。  
最初のオリエンテーションでは、  
杉本和生師(新宿西)からアシユラ  
ム全体の説明と注意が語られ、続く



第42回城北アシユラム 池の上キリスト教会 2011.2.11

開心の時は、主がルデヤの心を開か  
れたように私達の心を開かれるとの  
お勧めがあり、皆さんから二ードの  
発表がありました。

その後、八分団に分かれて、祈り  
の細胞が行われ、親しく二ードを分  
かち合い祈り合いました。

晴れやかになった一同がチャペル  
に集い、記念写真を撮った後は、コ  
イノニアホールで美味しい食事を頂  
きながら交わりの時を過ごしました。

午後からの静聴の時は、貴村かた  
る師(天門)により、今回の主題「い  
つも主にあつて喜びなさい」の聖書  
箇所、ピリピ書四章を黙読し、皆さ

んから心に示された恵みのみ言葉の発表がありました。

続く福音の時は、飯島幹雄兄の司会が始まり、席上献金が献げられ、千代崎備道師より「み言葉による喜び」(イザヤ書55章11〜13節)と題してメッセージを頂きました。様々な問題に直面する時に祈りが生まれ神様との交わりを通しクリスチャンとして成長すること、私達が主に帰る時に豊かな赦しがあること、絶望的な状況の中でみ言葉を信じる時に絶望が喜びに変えられていくことなどが語られました。

続く二回目の祈りの細胞では、茶菓を頂きながらそれまでに導かれたみ言葉を分かち合い祈り合いました。最後の充滿の時は、有馬歳弘師(青梅)から、イエス様がろばの子に乗ってエルサレムに入場されたように、私達もイエス様を背中にお乗せして世に遣わされて行くようにお勧めがあり、皆さんからその日に頂いた恵みや決意の発表がありました。そして、一同が輪になって賛美し、横山義孝氏の「イエスは主なり」の唱和と祈りで終了しました。また、子供集会在池の上教会のスタッフのご奉仕により、賛美、メッセージ、おやつ、遊びなど楽しい時間をもてたよ

## 第18回東京新生

### 教会アシラム報告

横山 基生



主の恵みの内に、第18回となる恒例のアシラムの時を東京新生教会で持つことができました。

今年のゲストは、遠く長野県から森脇弘隆さんが証に来て下さいました。森脇さんは、横山義孝牧師が開拓伝道した日本基督教団西川口教会に小学生のときに来たことがキリスト教会との最初の関わりでした。中学生頃まで教会に來たりしていましたが、クラブ活動や大学受験等で教会を離れてしまいます。しかし、主

が豊かに立ち戻らせて下さったこと、また実のお子さんの病の癒し等の証を聞き、マイナスをプラスにしてください。主を指し示してくれました。東京新生教会の会員の中には、西川口教会時代に森脇さんを教会学校の生徒として教えていた者たちがいたので、子供時代に蒔かれた御言葉の種が、無駄にならず豊かに成長したことを、確認でき本当に励まされました。

アシラムのハイライトは、連鎖祈禱でした。ほとんどの人が、自宅での祈りとなりましたが、土曜日の午後10時から翌日午前7時までを1時間毎に区切って、15人程度の者たちが参加できました。それぞれが切なる祈りを捧げつつ、御言葉に心を集中する時がありました。ある姉妹は二人の幼いお子さんを連れてのアシラム参加で、自宅に帰ってもご主人が出張中で、お子さんもなかなか眠りにつかない中であつて、主に祈ったときに、ご自身が予定した連鎖祈禱の時間に間に合うように、寝入ってくれて、集中して祈ることが久しぶりにできたそうです。その祈りの中で主から励ましを豊かに与えられ、霊的生活を一新することができたという証を聞くことができました。主の御名をほめたたえます。開心のときなどに、主に真実な心の叫びを公表することが難しい場合

## 各地区アシラム等予告

●日本クリスチャン・アシラム

連盟第19回全国理事會

とき 6月16日(木)〜17日(金)

ところ ホーリネス池の上教会

後刻詳細案内を全国理事

宛お送りします

●第49回関東アシラム

とき 9月19日(月)〜21日(水)

ところ 山崎製パン箱根山荘

助言者 大分恵み

キリスト教会牧師

岡山敦彦師

〒一八一〇〇二一 三鷹市井口3-15-16  
池の上キリスト教会内

日本クリスチャン・アシラム連盟  
振替口座 東京〇一〇〇一-四五五八